

群馬県立吾妻特別支援学校

特別支援教育の支援センターとして



皆さんを応援します！

お申込み・問合せは、専門アドバイザー(毒島久幸)までお願いします。

【相談支援室(小中学部校舎)】

電話番号 0279-51-1111 FAX 番号 0279-75-3701

メールアドレス (アドバイザー専用) agatoku-snes01@edu-g.gsn.ed.jp

住 所 〒377-0423 群馬県吾妻郡中之条町伊勢町 1035-1

※8月19日 吾妻地区コーディネーター研修会が行われました

講 義 「学校・園における発達障害等に係る指導支援について」

講 師 群馬県教育委員会 特別支援教育課 指導係

指導主事 木下 亮介 先生

研究協議

「発達障害等の指導支援に対するコーディネーターの役割～木下先生の講義を受けて～」

沢山の貴重なご意見、大変ありがとうございました。

(アンケートの回答を要約して掲載いたしました。ご了承ください。)

1. 「講義」について

○ 学んだこと・気づき

・ 行動分析の手法

ABC 記録やスキャッタープロット、氷山モデルシートなどを活用し、行動の背景や状況を客観的・視覚的に捉える重要性を学んだ。

・ 強度行動障害と二次障害の理解

強度行動障害は障害そのものではなく環境とのミスマッチから生じる状態であり、不適切な指導や厳しい叱責が二次障害を招くことを認識した。「困った子」ではなく「困っている子」という視点への転換が必要である。

・ 適切な支援・環境調整

児童生徒の特性に合わせた環境設定や、できた段階を見極めた支援、プラスの見取りと褒め方の工夫が支援につながると再確認した。

○ 新たな疑問・課題

- ・ 本人や保護者に困り感が薄く、周囲が困っている場合の対応方法や、全職員での共通理解・意識改革の進め方。
- ・ 通常学級や情緒学級における「個に応じた支援」と「インクルーシブ教育」の両立、および現場の負担を減らした分析手法の導入。
- ・ 強度行動障害の判断主体や具体的な二次障害への予防・対応策の深掘り。

2. 「研究協議」について

○ 学んだこと・気づき

・ 早期対応とアセスメント

二次障害を防ぐための早期発見・早期対応と、保護者の理解を得るための丁寧な教育相談の必要性を共有した。

・ 校内支援体制と連携

コーディネーターを中心とした全職員での情報共有・一貫した支援体制の構築や、校種間(幼・小・中・高)の円滑な引き継ぎの重要性を確認した。

○ 新たな疑問・課題

- ・ 個別の指導計画・支援計画の有効な活用法と、担当者の異動に左右されない継続的な支援システムの構築。
- ・ 保護者への二次障害理解の促進や、児童生徒同士の相互理解を促す環境づくり。
- ・ 校内における特別支援教育への意識・温度差の解消とコーディネーターの育成。

3. 今後学びたいこと・要望

- ・ アセスメントやケース会議の実践的な運用方法、具体的事例に基づいた医療・外部機関との連携手法。
- ・ 愛着障害や不登校支援、自立活動の具体的事例、専門医等による講義。
- ・ コーディネーター研修の参加条件緩和(経験年数制限の解除など)や、早期からの切れ目のない支援体制づくり。